



WEST



Generate Collection

Print

L5: Entry 4 of 13

File: DWPI

Nov 21, 2000

DERWENT-ACC-NO: 2001-084828

DERWENT-WEEK: 200125

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Mugwort bag useful as pillow, comprises thermoplastic resins like polyethylene, mugwort performing heat sealing, and starch, which are mixed in suitable quantity, molded on porous film sheet and processed into bag

PRIORITY-DATA: 1999JP-0164264 (May 6, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2000318742 A	November 21, 2000		006	B65D030/02

INT-CL (IPC): A41 B 11/00; A41 D 19/00; B65 D 30/02; C08 J 9/00; C08 K 5/00; C08 L 3/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000318742A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A bag containing a mugwort comprises a thermoplastic resins such as polyethylene, the mugwort performing a heat sealing process, and a starch, which are mixed in a suitable quantity and molded on a porous film sheet. The molded porous film sheet was processed into the bag.

USE - As deodorant, anti-mold, anti-microbe and insect repellent bag useful as pillow and useful for food.

ADVANTAGE - The bag is inexpensive with simple structure. The bag used as pillow effectively provides mugwort fragrance which relaxes the cerebral nerve providing good sleep. The bag has effective moisture absorption, and excellent deodorization, anti-mold, anti-microbe and insect repellent properties. The freshness of fruits and vegetables are maintained when stored in the bag, as the decomposing factor is eliminated by the porous film sheet. The mugwort and starch components in the bag perform plant activation, and provide long-term preservation. Medicinal component of mugwort prevents the generation of grain weevil. The bag effectively adsorbs unpleasant smell caused by storing garments during travel and laundry, and in hospitals. The bag provides excellent cushioning effect, and can be effectively and easily decomposed providing safe environment.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-318742

(P2000-318742A)

(43) 公開日 平成12年11月21日 (2000. 11. 21)

(51) Int. Cl.	識別記号	F I	テマコード(参考)
B 6 5 D 30/02		B 6 5 D 30/02	3 B 0 1 8
// A 4 1 B 11/00	1 0 1	A 4 1 B 11/00	1 0 1 Z 3 B 0 3 3
A 4 1 D 19/00		A 4 1 D 19/00	Z 3 E 0 6 4
C 0 8 J 9/00		C 0 8 J 9/00	4 F 0 7 4
C 0 8 K 5/00		C 0 8 K 5/00	4 J 0 0 2

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-164264

(22) 出願日 平成11年5月6日 (1999. 5. 6)

(71) 出願人 598026563

河越 義晴

大阪市港区夕風2丁目18-41-205

(72) 発明者 河越 義晴

大阪府大阪市港区夕風2丁目18-41-205

Fターム(参考) 3B018 ACO9

3B033 AB12 ACO1 ACO2 ACO3

3B064 BA22 BA26 BA60 BC18 BC20

EA30

4F074 AA01 AA03 AA05 AA17 AA97

BA03 BA13 BA14 CA22 DA34

4J002 AAD1W AB01X AB04Y ACD0W

AH00X AJ00X BB02W DE226

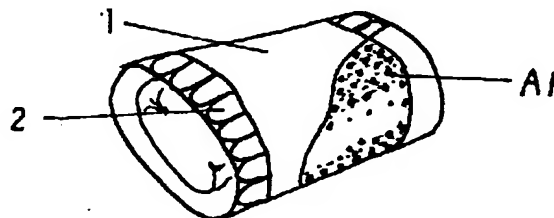
EQ006 ET006 FD326 GC00

(54) 【発明の名称】 よもぎ入り袋

(57) 【要約】

【目的】多機能性を有するよもぎの薬効を利用した画期的な袋であって、更に薬効機能を高めるために多孔質シートからなる袋にして安価に提供できること。

【構成】ヒートシール加工のできるポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に混入し多孔質フィルムシートに成形して、その成形した多孔質フィルムシートを袋状に加工したことを特徴とするよもぎ入り袋と、樹脂又はゴム系素材とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質シートに成形し、その成形した多孔質シートを袋状に加工してなることを特徴とするよもぎ入り袋とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ヒートシール加工のできるポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に混入し多孔質フィルムシートに成形して、その成形した多孔質フィルムシートを袋状に加工したことを特徴とするよもぎ入り袋。

【請求項2】樹脂又はゴム原料とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質発泡シートに成形し、その成形した多孔質発泡シートを袋状に加工してなることを特徴とするよもぎ入り袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、多機能性を有した多孔質シート素材からなるよもぎ入り袋の改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、食用植物を混入した多孔質シート素材からなる袋であって、多機能性を有した袋として市販されているものはなかった。

【0003】又、食用植物を混入してシート状に加工しても、大半の食用植物が毒素を有するものがあり、製品化するまでにはかなりの植物知識とシート状に加工する技術や知識、経験を必要とするので、思い切った製品化を試みて投資する人は少なかった。

【0004】食用植物の中で、よもぎは薬効成分の働きが多種多様に使用され、色々な製品が市販されている。特に、新聞や雑誌等にはよもぎに関する情報が多く、薬効成分等が記載されている。代表的なものとして記載すると、よもぎからもぐさを取る。よもぎは菊の仲間、よもぎからサントニンの働きで虫下しに利用、よもぎは天然の防腐剤、香りの健康活用法「アロマテラピー」、森の精気「ヒイトンチッド」、血圧を下げる効果があるよもぎ、アトピーに効くよもぎ効果、よもぎは各種ビタミン(A・B1・B2・C等)・ミネラル類(鉄分・カルシウム・リン等)が豊富、第5の栄養素・植物繊維の役割、よもぎを知って健康になろう、脱臭・消臭効果の意外性、抗菌・殺菌効果、血液の循環を促進させるよもぎ、よもぎの生命力、植物繊維・葉緑素(クロロフィル等)と表題だけでもかなりの薬効成分があるものと期待される。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本案は、以上のような実情に鑑みて発明したもので、多機能性を有するよもぎの薬効を利用した画期的な袋であって、更に薬効機能を高めるために多孔質シート素材からなる袋に加工して安価に提供できることを目的としたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために、請求項1では、ヒートシール加工のできるポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に

混入し多孔質フィルムシートに成形して、その成形した多孔質フィルムシートを袋状に加工したことを特徴とするよもぎ入り袋とした。

【0007】請求項2では、樹脂又はゴム原料とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質発泡シートに成形し、その成形した多孔質発泡シートを袋状に加工してなることを特徴とするよもぎ入り袋とした。

【0008】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を詳細に説明すると、請求項1のよもぎ入り袋は、ポリエチレン等の熱可塑性樹脂であって比較的軟質でヒートシール加工できるような素材であることが望ましく、よもぎと澱粉を混練しやすいフィルムシート素材であって、そのフィルムシート素材を袋に加工したものであり、更に、前記したフィルムシート素材は多孔質フィルムシートに施されている。この多孔質フィルムシートの加工は、自然に無数の微細孔12を設けるか又は人工的に無数の微細孔12を設けるかはいずれの方法を用いても良く、これらの形態を有したよもぎ入り袋Aであって、同じ素材の袋を用いて下記に示すような多目的に使用できる画期的な新商品を鑑みたものである。

【0009】以上のような構成であるので、これを実施するときには、例えば図1に示すように本案のよもぎ入り袋を枕A1として使用する場合の一例を示す一部中身を表した断面入り斜視図で、本案のよもぎ入り袋の中に初級やそばかす、ビニールパイプを短く切ったもの等の充填物3を入れて開口部を閉鎖し枕カバー1として寝るときに使用することにより、よもぎの香りの主成分シネオールが脳の神経を鎮静化し睡眠を促す効果があり、優れた安眠効果を促進させることのできるものである。

【0010】特に、本案のよもぎ入り袋A1は、ヒートシール加工のできるポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に混入し、多孔質フィルムシートに成形されたものを袋にしているので、多孔質箇所12と多孔質フィルムシート表面からよもぎの香りの主成分シネオールが長期間に渡って蒸散しやすく、澱粉などを混入することにより吸湿作用と併せて枕の防臭・防黴・抗菌・防虫等に優れた効果を発揮させることができるのである。

【0011】図2は本案のよもぎ入り袋を果実4の鮮度保持袋A2として使用する時の一実施例を示す一部中身を表した断面入り斜視図、図3は本案のよもぎ入り袋を野菜5の鮮度保持袋A3として使用する時の一実施例を示す一部中身を表した断面入り斜視図、図4は本案のよもぎ入り袋を生け花7の鮮度保持袋A4として使用する時の一例を示した斜視図を示したもので、これらの果実4・野菜5・生け花7の鮮度保持袋に共通して言えるのは、ポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に混入し、多孔質フィルムシートに成形されたものを袋にしているので、そのまま袋に収納するだけで良く、

例えばエチレングスが発生し袋内に溜まって腐敗させる要因になった状態が、蒸れ現象を多孔質フィルムシートの孔から袋外へ放出させることができると共に、澱粉及びよもぎ成分により植物の活性化を行い長期的な保存をすることができる。

【0012】図5は本案のよもぎ入り袋を穀物類(代表的に米を一例にした)8の鮮度保持袋A5として使用した時に一部中身を表した断面入り斜視図で、収穫した米を本案のよもぎ入り袋に収納すると、多孔質フィルムシートによる袋であるため蒸れ現象がなく、よもぎの薬効成分により穀象虫が発生することもないので、炊飯時にはよもぎの臭いが付着することなく美味しく炊くことができるものである。

【0013】図6は本案のよもぎ入り袋を手袋A6として使用する時の一例を斜視図に示したもので、手が荒れているときや手の保護用として寝る前や使用時に装着するだけで、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートにより、手あれ防止効果を発揮させるものである。

【0014】図7は本案のよもぎ入り袋を足袋A7として使用した時の一例を斜視図に示したもので、(イ)は靴下の形状にした足袋A7で、(ロ)は爪先と踵部分を引っ掛けて履くようにした足袋A7でこれらの形状はどのようなものでもよい。これらはよもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートにより足の乾きを防止し、水虫などを素早く直すことができ、事前に足袋を履くだけで予防効果も期待できるものである。

【0015】図8は本案のよもぎ入り袋を脱臭・消臭袋A8として使用する時の一例を示す斜視図で、旅行や洗濯物が増えて臭いがある場合や病院生活等で下着類9を溜めている時などの一時保管など、本案のよもぎ入り袋内に収納するだけで、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートを袋にしたことにより、嫌な臭いを吸着することのできるものである。

【0016】図9は本案のよもぎ入り袋を洋服カバーA9として使用した時の一例で一部中身を表した断面入り斜視図であり、毛皮やミンクのコートやスーツなどのカバーであって、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートによる袋のため、防臭・防霉・抗菌・防虫等に優れた効果を発揮させるものである。

【0017】図10は請求項2のよもぎ入り袋Bの斜視図であって、樹脂又はゴム原料とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質フィルムシートを袋状に加工した状態の斜視図で、前記した発泡剤には大別して無機系発泡剤と有機系発泡剤との2種類があり、無機系発泡剤には重炭酸ナトリウム(30°Cで分解し、炭酸ガスと水を発生する。発泡倍率が低い主として有機発泡剤と併用して使われる低発泡成形に使用)がある。又、有機系発泡剤にはアゾ化合物とニトロ化合物とスルホニルヒピラジッド化合物があり、アゾ化合物には大別して3種類ある。1つ目はアゾジカルボンアミド(分解温度が

調整できる。発生するガスは窒素が主で一酸化炭素、炭酸ガス、アンモニアなどが発生する。発泡剤の中でも良く使用されている)。2つ目はアゾビスイソブチロニトリル(100~103°Cで分解し、窒素ガスを発生する。主に硬質系ポリ塩化ビニルの加圧発泡で使用)。3つ目はアゾジカルボン酸バリウム(分解温度240~245°Cと高く、主に低発泡射出成形に使用されている)がある。又、ニトロ化合物はジニトロペンタメチレンテトラミン(分解温度は200°Cと高く、火薬的性質を持っており日本の消防法では危険物第5類の指定、主にゴムで使用。)とスルホニルヒピラジッド化合物(分解温度は110~115°Cと低く、主にゴムの発泡に使用されている)があるので、樹脂又はゴム原料は多孔質フィルムシート状にできる素材であればどのような素材であってもよい。

【0018】以上のような構成であるので、これを実施するときには、図11に示すように病院等のベッドの下に敷くシートB1として袋状のまま、敷くだけで消臭効果が得られるだけでなく、樹脂系素材とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質シートを袋状に加工したので、クッション効果やよもぎの香りと共に防臭・防霉・抗菌・防虫効果が得られるものである。

【0019】請求項1及び請求項2のよもぎ入り袋は、前記した実施例以外に本案の特徴に併せて幅広く使用することができるものである。

【0020】図12は従来の生分解性袋と本案のよもぎ入り袋の比較例を示した説明図で、本案の請求項1に示すポリエチレン等の熱可塑性樹脂とよもぎと澱粉を適量に混入し多孔質フィルムシートを袋状に加工したよもぎ入り袋A、及び、請求項2に示す樹脂系素材又はゴム系素材とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して、多孔質シートに成形して袋に加工したよもぎ入り袋Bのいずれも多孔質シートからなるので、例えば両方のよもぎ入り袋と通常の分解性フィルムシート又はシートCを土中に埋めたが、分解する速度は当然の如く、本案の多孔質シートの方が斜線で示すように早かった。特に、多孔質を有しないフィルムCは分解する速度が遅くフィルムの端部から斜線で示すように分解11され厚みにも関係していたが、これらの実験から本案のよもぎ入り袋の分解速度は良好であった。

【0021】

【発明の効果】本案は、以上のように簡単な構造で安価に提供できると共に、下記のような多大の効果を奏するものである。

【0022】請求項1のよもぎ入り袋を枕A1として使用すると、よもぎの香りの主成分シネオールが脳の神経を鎮静化し睡眠を促す効果があり、優れた安眠効果を促進させることができる。

【0023】前記の枕A1にした場合には前記した効果以外に多孔質箇所と多孔質フィルムシート表面からよも

ぎの香りの主成分シネオールが長期間に渡って蒸散しやすく、澱粉などを混入することにより吸湿作用と併せて枕の防臭・防霉・抗菌・防虫等に優れた効果を発揮させることができる。

【0024】請求項1のよもぎ入り袋を果実4、野菜5、生け花7の鮮度保持袋A2、A3、A4として使用した場合等、例えばエチレングスが発生し袋内に溜まって腐敗させる要因になっている蒸れ現象を多孔質フィルムシートにより無くすことができると共に、澱粉及びよもぎ成分により植物の活性化を行い長期的な保存をすることができ。

【0025】請求項1のよもぎ入り袋を穀物類8（代表的に米を一例にした）の鮮度保持袋A5として使用する時には、収穫した米を本案のよもぎ入り袋に収納すると、多孔質フィルムシートによる袋であるため蒸れ現象がなく、よもぎの薬効成分により穀象虫が発生することもないので、炊飯時にはよもぎの臭いが付着することなく、美味しく炊くことができる。

【0026】請求項1のよもぎ入り袋を手袋A6として使用した時、手が荒れているときや手の保護用として寝る前や使用時に装着するだけで、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートにより、手あれ防止効果を発揮させることができる。

【0027】請求項1のよもぎ入り袋を足袋A7として使用した時、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートにより足の乾きを防止し、水虫などを素早く直すことができ、事前に足袋を履くだけで予防効果も期待できるものである。

【0028】請求項1のよもぎ入り袋を消臭・脱臭袋A8として使用した時などで、例えば、旅行や洗濯物が増えて臭いがある場合や病院生活等で下着類9を溜めている時など、本案のよもぎ入り袋内に臭いのある着替えなどを収納するだけで、よもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートを袋にしたことにより、嫌な臭いを吸着することのできるものである。

【0029】請求項1のよもぎ入り袋を洋服カバーA9として使用した時、毛皮やミンクのコートやスーツ10などをカバーするとよもぎ成分と澱粉や多孔質フィルムシートによる袋のため、防臭・防霉・抗菌・防虫等に優れた効果を発揮させられる。

【0030】請求項2のよもぎ入り袋を脱臭シートB1として使用した時、病院等のベッドの下に敷くシートとして袋のまま、敷くだけで消臭効果が得られるだけでなく、樹脂とよもぎと澱粉と発泡剤とを適量に混入して多孔質シートを袋状に加工したので、発泡剤によるクッション効果だけでなく、よもぎの香りと共に防臭・防霉・抗菌・防虫効果が得られるものである。

【0031】請求項1及び2のよもぎ入り袋A、Bは、通常の分解性フィルムシート又はシートCと比べ土中に埋めた時、分解する速度は当然の如く、本案の多孔質シ

ートの微細孔のどの部分からでも一度に生分解しやすく、図12に示すように斜線で示した部分から分解11され、通常の分解性フィルムシート又はシートCは端部から分解11しその他の箇所からは生分解するのが遅かった。これらの実験から本案のよもぎ入り袋の分解速度は良好であった。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1のよもぎ入り袋を枕として使用する一例を示す一部中身を表す断面入り斜視図。

【図2】請求項1のよもぎ入り袋を果実の鮮度保持袋として使用する一例を示す一部中身を表す断面入り斜視図。

【図3】請求項1のよもぎ入り袋を野菜の鮮度保持袋として使用する一例を示す一部中身を表す断面入り斜視図。

【図4】請求項1のよもぎ入り袋を生け花の鮮度保持袋として使用する一例を示す斜視図。

【図5】請求項1のよもぎ入り袋を穀物類（代表的に米を一例にした）の鮮度保持袋として使用する一例を示す一部中身を表した断面入り斜視図。

【図6】請求項1のよもぎ入り袋を手袋として使用する一例を示す斜視図。

【図7】請求項1のよもぎ入り袋を足袋として使用する一例を示す斜視図で、（イ）は靴下の形状をした足袋と（ロ）の爪先と踵部分を引っ掛けるようにした足袋を示した。

【図8】請求項1のよもぎ入り袋を消臭・脱臭袋として使用する一例を示すよもぎ入り袋が半透明の斜視図。

【図9】請求項1のよもぎ入り袋を洋服カバーとして使用する一例を示す一部中身を表した断面入り斜視図。

【図10】請求項2のよもぎ入り袋の斜視図。

【図11】請求項2のよもぎ入り袋をベッドの下に敷くシートとして使用する一例を示す斜視図

【図12】従来の生分解性袋と本案のよもぎ入り袋の比較例を示した参考説明図。

【符号の説明】

A	請求項1のよもぎ入り袋
A1	枕
A2	果実用鮮度保持袋
A3	野菜用鮮度保持袋
A4	生け花用鮮度保持袋
A5	穀物類の鮮度保持袋
A6	手袋
A7	足袋
A8	消臭・脱臭袋
A9	洋服カバー
B	請求項2のよもぎ入り袋
B1	脱臭シート
1	カバー
2	フリル

(5)

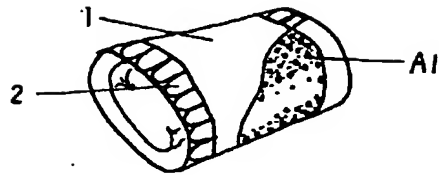
特開2000-318742

8

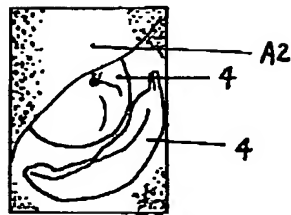
3 充填物
4 果実
5 野菜
6 閉じ紐
7 生け花

8 穀物類
9 下着類
10 スーツ
11 分解した部分

【図1】



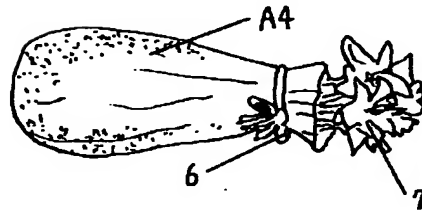
【図2】



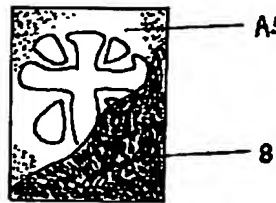
【図3】



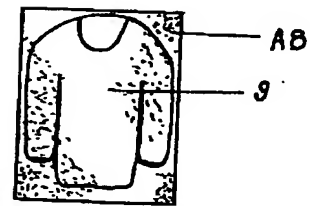
【図4】



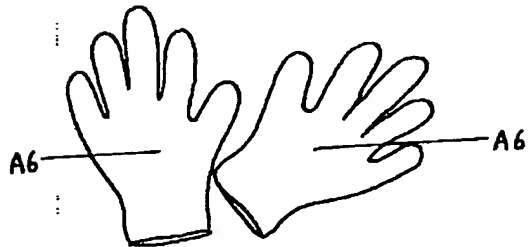
【図5】



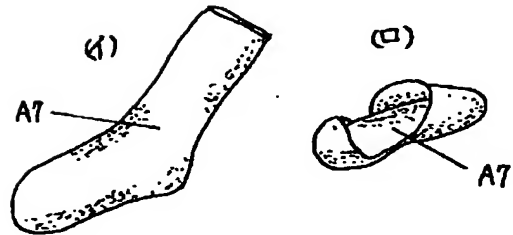
【図8】



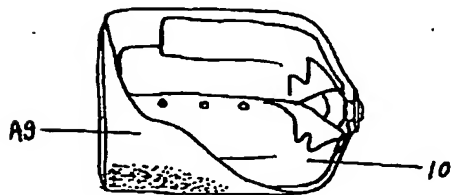
【図6】



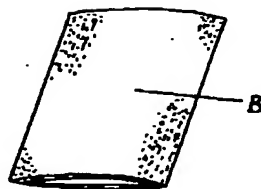
【図7】



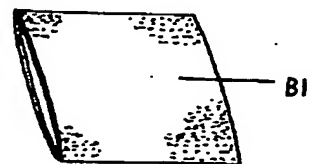
【図9】



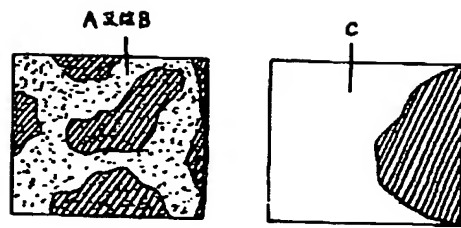
【図10】



【図11】



【図12】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
C08L 3/02

識別記号

FI
C08L 3/02

テーマコード(参考)